



仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

2016年9月号ブリテン 通算第64号 2016.9.28



事務所 〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533 FAX 022-222-2952

Email: migaku-katoken@mvd.biglobe.ne.jp 書記 加藤 研

ブリテン: <http://ys-east.jimdo.com/bulletin/sendaihirosegawa/>

第1例会: 毎月第3水曜日・第2例会: 毎月第1水曜日 仙台YMCA 18:45

2016—2017年度 主題 (Theme)

- 国際会長 Joan Wilson (カナダ) 「私たちの未来は、今日より始まる」
- アジア会長 Tung Ming Hsiao (台湾) 「ワイズ運動を尊重しよう」
- 東日本区理事 利根川恵子 (川越) 「明日にむかって、今日動こう」
- 北東部 部長 長岡 正彦 (もりおか) 「明日のために、いま土台を築こう」
- クラブ 会長 及川 浩美 「笑顔を絶やさず!」～ Keep on smiling!～

2016～2017年度 クラブ役員

会 長	及川 浩美	地域奉仕	伊勢 文夫	メネット会長	松本 京子
副 会 長	佐藤 剛	会員増強	阿部 松男	ブリテン	本野 日出子
	菅野 健		村井 伸夫	ユース	布宮 圭子
書 記	加藤 研	国際交流	吉田 俊一	YMCA	清水川 洋
会 計	門脇 秀知		佐藤 善人	直前会長	佐藤 善人
監 査	高篠 伸子	ドライバー	菅野 健	担当主事	荒木 啓二

今月の聖句

吉田 俊一

「人は目に映ることを見るが、主は心によって見る。」

旧約聖書サムエル記 上16.7

巻頭言

加藤 研

「秋分の日」はチャリテイランの日ですが、以降夜の時間が徐々に長くなります。いわゆる「秋の夜長」となりますが、皆さんはどのように過ごされますか。

私は読書家ではありませんが、寝る前には必ず「活字」を必要とします。ここ数年は「時代小説」を愛読するようになりました。

きっかけはフツと手にした藤沢周平「蝉しぐれ」に心奪われ、「秘太刀馬の骨」「たそがれ清兵衛」「漆の実みのる国」…次々に読みました。

数年前には鶴岡にある「藤沢周平文学館」も訪れました。

「時代小説」を楽しむことを覚え、他の作家も知りたくなり、宇江佐真理・乙川優三朗・山本一力・葉室麟等々に出会いました。

つい数日前には平岩弓枝「御宿かわせみシリーズ」を読み終わりました。

これらの作品の共通点は「英雄伝・偉人伝」ではなく、「市井の人々の生き様」を見事に表現し、あたかも現代の私を投影したかのような文面に心奪われました。

「歴史」は「中庸な名もなき人々の営々と積み重ねた記録」ではないでしょうか。

「平凡に生きる」ことこそ「歴史の作り手」と考えることが出来ました。(以下2Pへ続く)

8月第1例会報告

在籍者	16名	出席者	13名	メイキャップ	1名	出席率	88%
メネット	名	ゲスト・ビジター	名	ニコニコ	合同例会に抛出		

(巻頭言続き)

映画「武士の家計簿」ご覧になりましたか？中身は「現代サラリーマン社会」でした。

今年5月より上映されている「殿！利息でござる」は「仙台藩吉岡宿」が舞台で、農民が第7代藩主伊達重村に1,000両(3億)の金を貸し、毎年100両(3千万)の利息を取り、毎年の宿場運営の納税対策とした実話です。

9人の中心人物は全て農民で、共に誓ったのは、誰にもバレないように決して口外しない「慎みの掟：未来永劫慎む」の約束でした。

ですから、このことが明らかになったのは、最近でした。

原作者の磯田道史さんは「本当に大きな人間は世間的に偉くはなくても、金を儲けなくても、ほんの少しでもいい、濁ったものを清らかな方にかえる浄化能力のある人」と言っています。

正に「市井の人」のことです。

フツと手にした「時代小説」が幸せな時間を与えてくれました。

(蛇足ですが映画「殿…」で大肝煎・千坂仲内を演じている「千葉雄大」は仙台三高卒で私の息子と同学年でした。テレビの戦隊物で人気を集め、今回の配役となりました。現在もテレビドラマやバラエティーで活躍しています。)

皆様にも善き夜長になりますように。

★ 河北新報夕刊に掲載されました

【行事予定】

9月

22日(祝) チャリティーラン
東北学院大泉キャンパス

10月

1日(土) わくわくふれあい遊び
(西中田・加茂保育園)

8日(土) わくわくふれあい遊び
(南大野田保育園)

20日(木) チャリテイゴルフ
泉国際ゴルフ倶楽部

【国際・地域協力募金】

十勝産じゃがいも・かぼちゃ販売

じゃがいも：1箱(10キロ) 2200円

かぼちゃ：1箱(10キロ) 2800円

申込と問い合わせ

022-222-7533 仙台YMCA

ぜひ、ご賞味を

までえに街いま

⑤仙台YMCA

1905年6月、勤労青年のための英語の夜間学校として始まった。当時は日露戦争のさなか。混沌(こんとん)とした時代の下、青少年の健全育成を願う市民らが私財を出し合い創設資金に充てた。

現在は、国際交流事業などを行う公益財団法人、専門学校や認定こども園などを運営する学校法人、保育園を展開する社会福祉法人、仙台市の児童館を指定管理するNPO法人の計4法人を統括する。

「自ら組織を大きくしようと意図した訳ではなく、待機児童の問題など市民の困り事に対応しようと動いた結果、今の体制になった」と村井伸夫総主事(59)は振り返る。

最も力を注いでいる活動の一つが災害被災地の支援。国内外で大きな地震や水害などが発生した際、職員たちは直ちに街頭募金に立ち、「国籍、言語、人種を問わず困っている人に手を差し伸べる」という理念を実践し続ける。



「困っている人がいたら立ち止まり、手を差し伸べられるような子どもたちを育てたい」と語る村井総主事(右から3人目)と職員(皆さん)

【8月第1(納涼合同)例会報告】

日時：8月19日(金) 18:30~20:30

場所：ホテルJALシティ仙台「ジョリー」

出席者：阿部・荒木・伊勢・及川・加藤・門脇・

菅野・佐藤善・高篠・布宮・本野・村井・松本

合同例会初参加の石巻広域クラブ11名を含め総勢50名を超える参加で、仙台青葉城クラブのホストのもと開催された。長岡北東部部長、井上もりおかクラブ会長ご夫妻もゲストとして参加された。クラブごとのアピールタイムでは、広瀬川クラブは荒木担当主事発案でみんなの名前をもじった決意文を読み上げ、大いに盛り上がりました。今後も4クラブ力を合わせてワイズ活動出来ればと思います。



【9月第2例会報告】

日時：9月7日(水) 18:45~20:30

場所：仙台YMCA会議室

出席者：荒木・伊勢・加藤・門脇・菅野・佐藤剛・松本・

吉田

<協議事項>

- ① 9月第1例会の企画は村井が検討中
- ② 北東部会出席の再確認
- ③ チャリティランには広瀬川クラブ1チームが参加
- ④ 『10月第1例会』はメネット企画移動例会を検討中
- ⑤ 『YMCAクリスマス』12月2日市民会館で開催
「会場設定」「企画」等様々協議・思案中。
- ⑥ 「使用済み切手処理」11月第1例会で行う。
- ⑦ 10月20日(木)チャリティゴルフ
広瀬川クラブ賞品「ジャガイモ2箱」提供
- ⑧ その他
 - ・国際協力募金『ジャガイモ・カボチャ』販売は従来通り実施。台風被害の影響は、最小限であった。
 - ・荒木メン 9/19~12/4「研修」の為不在。

【第20回北東部会】

もりおかクラブ10周年記念例会

日時：9月17日(土) 13:00~17:00

場所：ホテルメトロポリタン盛岡

出席者：阿部・伊勢・及川・加藤・門脇・菅野・

佐藤善・村井・松本(以上広瀬川クラブ)

外国と全国から80名を超すワイズメンが盛岡に集まった。部会では及川会長がアピールを行った。(写真下)

なお、中川前北東部部長に、「エルマークロウ賞」が贈られ伝達式が行われた。



部会に続いて、もりおかクラブ周年記念例会が開催され、「あれから5年、あの日を忘れない」と題して、松本勇毅氏(渚亭たろう庵社長)が講演された。10年で、部会を二度、さらに東日本区大会を主管されたもりおかクラブに賞賛の声が贈られた。

編集後記

新聞に様々な活動が取り上げられています。YMCAをアピールする行事が続きます。皆さんのお力で成功させましょう。H. H

河北新報朝刊に掲載された仙台YMCAホテル専門学校 坂本 満 先生の投稿をご紹介します。
紙面の都合で配置を編集させていただきましたのでご了承願います。(投稿内容に変更はありません。)

英語教育の課題

発音にもっと力を入れて

次期学習指導要領に関し、中央教育審議会の特別部会が8月1日に示したまとめ案によると、英語を小学5年から教科化し、外国語活動の開始を3年に前倒しするということとです。このように英語学習が強化される傾向を見るにつけ、私には大変気になる点があります。それは、日本人の英語学習者は発音への関心が薄すぎるのではないかとということです。

私は60年間にわたって中学・高校・専門学校で英語を教えてきました。その経験から、日本の学校の授業では文法や訳読には多くの時間を割いているが、発音の指導はあまりやっていないという感想を持っています。

書店には文法の本は山ほどありますが、発音の本は少ししかありません。日本人はなぜか言語の発音部分にあまり関心を示さないようです。外国語の学習では、これではいけないと思います。なぜいけないのか、理由を考えてみましょう。

◆ ◆ ◆
言語とは、本来1セットの音声です。人類が最初に使った言葉はもちろん話し言葉です。文字はありませんでした。今でも世界には話し言葉だけで生活している人たちがいます。言葉は本来音声であつて、文字はその音声を表す記号にすぎないといえるでしょう。それは、発音が重要であることの根拠となるものです。



◆ ◆ ◆
次に、英語学習者にとって文法と発音はどちらがより重要か、について考えてみましょう。世界にはいろいろな言語がありますが、その音声にはそれぞれの言語に特有の音色を持ったベースになる音があります。

そして、それらの音は組織的なルールによって組み合わせられ、語や文になって意味を伝えることができるのです。もし発せられた音声の音色(発音)が違っていたり、音が間違つたルール(文法)で組み合わせられていたりすれば、その音声は言葉としての使命を果たすことができませぬ。

このように考えると、先ほどの問題の答えが見えてきます。すなわち「英語学習者は発音と文法の両方を学ぶ必要があり、両者の重要性は同じである」ということとなります。

◆ ◆ ◆
私は、あるアメリカの中学校で、日本人の英語の先生方と共に授業を見学したことがあります。そこで、2、3人の生徒が「日本人の先生方の話がよく分からない」と言っているのを聞いて、ショックを受けました。英語の先生なのに、なぜ英語圏の人に分かってもらえない英語が話せないのでしょうか。大きな文法的間違いをすることは考えられないので、通じない理由は発音にあったと思います。だとすれば、教えられる生徒たちの発音が良くなるはずがありません。

英語の教育者、学習者の方々に、発音の重要性にもっと目を向けていただきたいのです。何も英米人と同じように話せなくてもいいのです。自分の話が相手に通じ、教養を疑われたりしないように、最低限必要な発音はしっかり身に付けることが日本の英語教育の緊急課題だと思います。(投稿)



国際大会台湾訪問記（菅野）

ワールドトラベル加藤ご夫妻とガイドさんのおかげで、国際大会開幕前ツアーで楽しいひと時を過ごすことができました。

九份での開運花文字店、台北市郊外のテレサテンのお墓、そして台北市の小籠包レストラン。どれも素晴らしい思い出となりました。

なお、花文字店と小籠包レストランは、8/20TBCテレビ放送の「サンドのぼんやりーぬ遺産IN台湾」でも大きく紹介されました。



掌怪画廊

九份の花文字店
客の願い事を聞いてから一枚一枚目の前であつという間に仕上げてくれます。（写真左）



<http://nenemomoasia.com/2015/10/29/kyuufun-hanamoji/>



テレサテンの墓地

台北市郊外の広大な墓苑の一角にあります。ピアノ鍵盤が迎えてくれ、お墓にはお花が絶えることがありません。つついテレサテンの歌を歌いたくなる雰囲気です。（写真上）

「何も知らずに あなたは言ったわ

たまにはひとりの 旅もいいわと」 「空港」

<http://www.taipeinavi.com/food/19/>

鼎泰豊（ティンタイフオン）

世界中に「小籠包」の名を知らしめた有名店。店の前には長い長い行列でしたが、ガイドさんのお力で優先入店できました。仙台市内にも支店がありますが、やっぱり本店で食べる小籠包は何とも言えない美味しさでした。（写真上）